

速度グラフのずれを補正する

同じコースを走行した場合でも、走行ラインなどの違いにより走行距離に差が生じます。この走行距離のちがいを補正することで、速度グラフを正しく比較することができるようになります。

1. 速度グラフの走行距離の違いによるずれ

下図は同じコースを走行したにも関わらず走行距離に差が出たサンプルです。

実際の走行距離は、【グラフ】の右下に表示されています。

0.39.020 0.828km AVE=7
0.39.322 0.841 km AVE=7

この場合は、赤車両 0.828km 青車両 0.841km となり走行距離差は 13m となります。

※茶色○印部分は、走行距離にちがいがあのためにグラフ右端がずれています。



速度グラフのずれは、スタート地点では「0」ですが、走行距離が延びるほどちがいが蓄積され大きくなります。

2. 走行距離の違いによるずれを補正する方法

正しく比較したい（赤色）速度グラフ上の位置に「セクタ」を入れ、その位置を基準にグラフを重ね合わせます。

※この機能を使う場合は速度グラフの横軸を距離とする必要があります。

■補正前



赤縦線位置を見ると、赤の方が早く加速を始めており、青より高い速度で直線を加速しているように見えます。

■補正方法

2.1 正しく比較したい位置にセクタを入れます。

2.2 ▼ボタン「セクタ位置で横軸（距離）を合わせる」をクリックし、設定したセクタの上に▼マークが来るようにします。

グラフ上部の▼マークはそのセクタ位置を基準に速度グラフが重なっていることを示しています。▼ボタンクリックによりマークはスタート位置からセクタを左から右方向へ移動します。最後のセクタの次はスタート位置に戻ります。



補正前は、あたかも赤が早く加速していたかのように見えたが、実際はほぼ同等な加速していることが分かります。

このように、速度グラフの走行距離の差によるずれは長いコースに程大きくなります。

コース終盤の速度を比較する時には、この機能を使うことをお勧めします。